

いちようだより

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



新年のご挨拶

まず2024年1月1日、石川県能登地方を震源として発生した地震により被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地域の皆さまの安全、被災地域の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて例年は、世界情勢やスポーツ、活躍した方などのことを書いているのですが、たまには私自身のことを書いてみようと思います。私は今年無事に72歳を迎えることとなり、6回目の年男を経験することになりました。家族のほうも、子供たちが結婚し孫もできました。長男、三男は家から出ましたが、時々家にきて夕食を伴にしてくれることが楽しみになっています。次男は医療とは違う方面で頑張っております。たまに孫を預かることもありますが、エネルギーの塊で私のほうが疲れてしまいそうなので様子を見ております。一方で母は視床出血になり、療養を続けていましたが、残念ながら一昨年他界しました。このように自分の周りでも家族の形が大きく変化しておりそのことが年月の経つ早さを改めて実感させてくれます。

さすがに体の衰えを感じますが、一時期はやっていた任天堂 WiiFit で、10年間以上毎日欠かさずに体重やBMI測定、体幹バランスのトレーニングをしております。最近、シックスパッドの電気トレーニング機器を使って足のトレーニングも始めました。いつまでも、健康でありたいものです。

今年2024年は甲辰（きのえたつ）の年で、「新しいことを始めて成功する」「いままで準備してきたことが形となる」といった意味があります。当院も今まで温めてきたものが芽吹き、新しい風で年始の暗いニュースを吹き飛ばすようでありたいと思っておりますので、どうか皆様今年も防府病院といちようだよりをよろしく願いいたします。



クリスマスコンサート



コロナ感染症が 5 類に引き下げになって初めてのクリスマスということで、防府市内では至る所でイルミネーションが輝いていたり、クリスマスイベントが開かれたりして、活気を取り戻しつつある世の中です。そんな中当院では今年も、12月22日にピアノ奏者の荒瀬美保さんと、ヴァイオリン奏者の石丸安帆さんをお招きして、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催致しました。今年も総勢 66 名の患者さんが各病棟からコンサート会場に集まりました。

コンサートでは、定番のクリスマスソングやクラシック音楽の他、昨年大ヒットした YOASOBI の『アイドル』や NHK 連続テレビ小説の主題歌にもなったあいみょんの『愛の花』など、流行りの歌謡曲も披露されました。

また、荒瀬さんによるオリジナルの防府病院リクエストメドレーが演奏されると、患者さんは「私のリクエストが演奏されて嬉しかった」「六甲おろしが入ってた!」と大盛り上がりでした。最後は、お二人の演奏に合わせてシングルベルの大合唱をして、盛大にクリスマスコンサートを締めくくりました。様々な工夫が凝らされた演奏会に、患者さんスタッフ共々時間を忘れて、素敵な音楽の世界に浸ることが出来ました。



素敵な演奏に皆さん大満足でした

もちつき

12月28日に、「もちつき」が開催されました。2023年最後の行事であり、スタッフをはじめ、病棟の患者さんにも参加して頂いています。昨年同様、天気にも恵まれ、暖かい日差しの中で行う事が出来ました。参加していた患者さんからの「よいしょ!よいしょ!」という元気な掛け声のもと、白くきれいなお餅ができました。各病棟に飾る鏡餅は毎年患者さんに丸めて頂いています。うちわで冷ましながらかき混ぜるのが難しい工程ですが今年もすてきな鏡餅が完成しました。



昭和 27 年より使われているだいがら



編集後記

『一富士、二鷹、三茄子』と言えば、初夢ですよね。初夢はいつ見る夢なのかは諸説あるようですが、一般的には新しい年を迎え、最初に眠った日の夜に見た夢を言うそうです。私事ですが、子供の頃は七福神の絵を枕の下に置き、良い夢が見られるように「おまじない」をしたものでした。皆様は、どんな初夢を見られましたか。